

安全対策課

2-1-14 (決算書 122 ページ)

○生活安全対策費

○環境浄化対策事業

1 旅館の建築・レンタルルーム規制条例等

武蔵野市では昭和 58 年に「武蔵野市環境浄化に関する条例」を施行、昭和 59 年に吉祥寺本町一丁目の一部を「環境浄化特別推進地区」に指定した。「環境浄化特別推進地区」においては、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」や「武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例」などにより、旅館の建築等（新築、増改築、大規模な修繕など）及びレンタルルームの営業について指導を行っている。

平成 17 年度以降、旅館の建築等及びレンタルルームの営業の事前協議・同意申請の実績はない。

- －武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市旅館の建築等に関する指導要綱－
- －武蔵野市レンタルルーム営業に関する指導要綱－

2 環境浄化審議会

環境浄化特別推進地区に関する事項、旅館・レンタルルーム規制条例に関する事項及び勧誘行為等適正化特定地区の指定に関する事項その他市長が必要と認める事項を調査、審議した。

開催日	H29. 1. 26 18:00～20:00
場所	本町コミュニティセンター
内容	吉祥寺駅周辺における環境浄化の実地調査及び今後の方針など
参加人数(人)	6

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－

3 防犯活動等

飲食店営業者などを対象とした講習会の開催を実施した。

開催日	H28. 11. 15 14:00～16:00
場所	武蔵野芸能劇場
対象者	市内で飲食店営業などを営む者及びその従業員など
内容	環境浄化に関する市の施策を説明し、参加者には受講済ステッカーを配布など
参加人数(人)	50

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－

4 まちづくり事業

環境浄化特別推進地区を対象としたまちづくり事業を実施した。

事業区分	事業概要	備考
地域の環境浄化及び活性化	道路清掃 フラワーポットの設置 街路灯の電気料金助成	毎日実施 補助事業 〃

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －環境浄化特別推進地区における商業活動活性化事業補助金交付要綱－

5 防犯カメラの運用状況

環境浄化特別推進地区内においては、4 台の防犯カメラが設置されている。(昭和 53 年 4 月に 3 台、平成 12 年に 1 台) さらに平成 24 年 3 月には、吉祥寺駅東部地区に 4 台及び南口パークロードに 6 台の防犯カメラを設置した。推進地区の映像同様に東部地区の映像についても、従来どおり東口交番にモニターを設置している。平成 24 年 3 月 16 日に設置記念式典及び環境浄化推進啓発キャンペーンを実施した。現在、吉祥寺駅周辺には 14 台の防犯カメラが配備され、犯罪の抑止力が図られている。

- －武蔵野市環境浄化に関する条例－
- －武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則－
- －武蔵野市防犯カメラの管理及び運用に関する規則－
- －環境浄化特別推進地区における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱－

安全対策課

6 歳末特別環境浄化推進パトロール

吉祥寺東部地区の安全・安心のまちづくりをアピールするため、市長を先頭に市民や関係機関と連携して「歳末特別環境浄化推進パトロール」を実施した。

日 時	H28.12.20 18:00～19:00
集 合 場 所	吉祥寺駅北口駅前ロータリー
巡 回 コ ー ス	環境浄化特別推進地区及び勧誘行為等適正化特定地区
参加人数(人)	178

—武蔵野市環境浄化に関する条例—
—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例—

7 環境浄化地区夜間パトロール

平成28年7月20日環境浄化特別推進地区において、風俗営業等を営む者などに市民等の環境浄化に向けた確固たる態度を示すため市民安全パトロール隊等による夜間合同パトロールを実施した。参加人数44名。

—武蔵野市環境浄化に関する条例—

○生活安全対策事業

1 市内安全パトロール

武蔵野市青色防犯パトロール隊「ホワイトイーグル（平成14年11月18日運用開始）」による市内安全パトロールを実施した。市内を3地区に分けて、3台の青色回転灯装着車両により、学校や子ども施設を中心に巡回している。（立ち寄り施設149か所、周辺警戒96か所）

また、ホワイトイーグル隊員による市内児童へのセーフティー教室を16回（けやき幼稚園、千川小、千川保育園、千川小あそべえ、第四小あそべえ、井之頭あそべえ、桜野小あそべえ、第五小あそべえ、第一小あそべえ、関前南小あそべえ、大野田小あそべえ、キッズガーデン関前、プチクレイシュ）開催し、延べ参加人数1212名。

—武蔵野市生活安全条例—
—武蔵野市生活安全条例施行規則—

2 武蔵野市市民安全パトロール隊

市民による有償ボランティアのパトロール隊（平成16年10月26日運用開始）を編成し、登下校時及び塾帰りの児童の見守りを実施した。市内を3地区に分けて、67名（平成29年3月31日現在）の隊員で専用のジャンパー、帽子、腕章を身につけ、活動を行った。平成28年度のパトロール実績は延べ2,853回、参加者497名。

—武蔵野市生活安全条例—
—武蔵野市市民安全パトロール隊委員会設置要綱—
—武蔵野市市民安全パトロール隊設置要綱—

3 つきまとい勧誘行為等の指導

安全パトロール隊「ブルーキャップ（平成14年11月11日運用開始）」が執ような客引きなどに対し、つきまとい勧誘行為及び路上宣伝行為等の指導・警告を実施し、条例施行当時よりも大きく環境が改善された。また、執ような客引き行為者への指導・警告は、半年以内に3回以上の指導を受けた行為者、及び店舗の責任者に対しても、つきまとい勧誘行為指導通知書を配達証明郵便にて交付する。過去5年間の結果は以下のとおりである。

(件)

年 度	24	25	26	27	28
内容					
つきまとい勧誘指導	37	41	17	11	10
つきまとい勧誘警告	7	26	—	2	—
通 知 書 交 付	—	—	—	—	—
路上宣伝行為指導	5,831	4,660	3,466	1,477	786

—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例—
—武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例施行規則—

4 吉祥寺ミッドナイトパトロール

平成25年2月の事件後、吉祥寺緊急安全対策会議において、夜間帯のパトロールの必要性が認められ、同年4月1日から新たに深夜帯のパトロール隊である吉祥寺ミッドナイトパトロールをスタートした。活動時間は午後11時から翌朝7時までで、吉祥寺駅周辺を徒歩及び自転車にてパトロールを実施した。平成28年度は、前年度同様、大きな出来事もなく無事終了できた。

—武蔵野市生活安全条例—

安全対策課

5 振り込め詐欺対策

振り込め詐欺防止対策機器「自動通話録音機」を65歳以上の市民を対象に無料貸出しを実施した。(平成27年度60台、平成28年度20台、合計80台)また、武蔵野警察署から振り込め詐欺注意喚起の警視庁メールを受信した際、むさしの防災・安全メールを配信するとともに、ホワイトイーグル車両の拡声器を利用し、市民への注意喚起を行った。
送信件数 71 件。

—武蔵野市生活安全条例—

6 吉祥寺安全対策会議

平成25年2月28日に吉祥寺で発生した強盗殺人事件を踏まえ、吉祥寺の安全安心を回復するため関係機関等が連携を図り、総合的な安全安心対策を推進することを目的とする会議を開催した。この会議において吉祥寺ミッドナイトパトロール(平成25年4月1日運用開始)による24時間巡回態勢をとることを決定した。
第1回は平成25年3月18日、第2回は平成25年4月22日、第3回は平成26年1月22日、第4回は平成26年12月10日に開催し、名称を吉祥寺緊急安全対策会議から吉祥寺安全対策会議に名称変更した。また吉祥寺商店会パトロールの発足を表明した。第5回は平成28年3月29日、第6回は平成28年3月29日に開催した。参加人数36名。

—武蔵野市生活安全条例—

7 吉祥寺地区盛り場総合対策

平成27年1月から、月に一度、武蔵野警察署、吉祥寺商店会パトロール隊、防犯協会、学生パトロール隊、ガーディアンエンジェルス、市等が連携し、吉祥寺のまちの夜間パトロールを実施した。実施回数9回、延べ参加者360名。

—武蔵野市生活安全条例—

8 武蔵野市ながら見守り連携事業に関する協定締結

地域に密着した事業者の協力を得て市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、平成27年10月23日、日本郵便株式会社武蔵野郵便局と協定を締結し、さらに平成28年4月14日には多摩武蔵野しんきん協議会と協定を締結した。

—武蔵野市生活安全条例—

9 建築主に対する指導

新たに市内で戸数15戸以上の共同住宅などの建物を建築しようとする者に対し、当該建物における犯罪を予防するために必要な設備の設置に関して、武蔵野警察署長と協議するよう指導した。

年 度	24	25	26	27	28
指導件数(件) (うち共同住宅)	27 (13)	31 (17)	27 (14)	31 (21)	32 (18)

—武蔵野市生活安全条例—

—武蔵野市生活安全条例施行規則—

10 武蔵野市生活安全会議

市民生活の安全を確保するための施策に関し、武蔵野市長を委員長とし、関係機関の長を委員として、武蔵野市生活安全計画を策定することを目的とした会議を開催した。

開 催 日	H29. 3. 17 15:00~16:00
場 所	災害対策本部室
参 加 団 体 等	武蔵野警察署長、武蔵野消防署長、多摩府中保健所長、武蔵野市消防団長
内 容	平成29年度武蔵野市生活安全計画(案)の承認について
参加人数(人)	5

—武蔵野市生活安全条例—

—武蔵野市生活安全条例施行規則—

安全対策課

11 武蔵野市生活安全対策推進協議会

武蔵野市生活安全計画の推進を図るため、関係機関や市民団体等と協議することを目的とした協議会を開催した。

開催日	H28. 5.31 13:30～15:00
場所	災害対策本部室
参加団体等	市長、防犯協会会長、交通完全協会会長、小学校校長会代表、小中学校PTA連絡協議会代表、私立小学校校長会代表、私立幼稚園連合会武蔵野地区会会長、コミュニティ研究連絡会会長、消費者運動連絡会会長、クリーンむさしのを推進する会会長、日本ガーディアン・エンジェルズ理事長、警察署生活安全課長、消防署予防課長、多摩府中保健所企画調整課長、消防団副団長、主管部長
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度武蔵野市生活安全計画の公表 各団体からの安全に関する活動について ホワイトイーグル、ブルーキャップ、ミッドナイト及び武蔵野市市民安全パトロール隊の活動状況について
参加人数(人)	22

— 武蔵野市生活安全条例 —
— 武蔵野市生活安全条例施行規則 —

12 武蔵野市市民安全大会

武蔵野市生活安全計画の推進を図るため、関係機関や市民団体等への周知を目的とした大会を開催した。

開催日	H28. 7. 2 10:00～12:00
場所	武蔵野スイングホール
参加団体等	武蔵野警察署、武蔵野消防署、多摩府中保健所、武蔵野市消防団、武蔵野防犯協会、武蔵野市生活安全対策推進協議会、東京都青少年・治安対策本部、一般市民ほか
内容	<p>平成28年度武蔵野市生活安全計画の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防犯活動の紹介(武蔵野ワンワンパトロール隊、けやき並木ワンパト会) 振り込め詐欺に関する寸劇
参加人数(人)	148

— 武蔵野市生活安全条例 —
— 武蔵野市生活安全条例施行規則 —

13 武蔵野市暴力団排除条例

都内でも有数の繁華街を抱える本市において、市の現状を踏まえた実効性の高い対策が必要なことから、本市の暴力団に対する強い姿勢を明らかにし、市や市民、事業者の責務等を明示した条例の制定が必要なことから「武蔵野市暴力団排除条例」を平成25年4月1日から施行した。東京都条例とともに、この条例に基づいて市民、事業者、警察等の行政機関との協働により、安全・安心のまちづくりを推進した。参加者50名。

— 武蔵野市暴力団排除条例 —

○危機管理対策事業

1 AED有効活用推進事業

平成20年12月22日、東京武蔵野ライオンズクラブから4台のAED寄贈を受け、市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置したことに伴い、救命事態発生時に市民への貸し出しを行うAED有効活用推進事業を開始した。また、緊急時に自己所有AEDの貸し出しを行う協力事業者を募集した。(平成29年3月31日現在、41事業所が登録済み)

— 武蔵野市生活安全条例 —

2 避難者サポートニュース

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による原子力発電所の事故により、武蔵野市に避難された方へ、様々な情報提供を行うための情報機関紙として「むさしの避難者サポートニュース」を発行した。平成23年度は月2回(第1回4月25日)発行、平成24年度から月1回の発行、平成28年度からはお知らせする情報が少なくなったことから、3か月に1回の発行とした。なお、平成28年度は4通を発行し、延べ73号を被災者の方々にお届けした。

— 武蔵野市生活安全条例 —
— 武蔵野市における東日本大震災に伴う避難者の登録に関する規則 —

安全対策課

3 危機管理訓練

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)により、危機管理訓練を実施した。

	実施日	訓練名	参加者及び人数	訓練内容
1	H28. 8. 1	不発弾処理対策訓練	防災安全部職員 参加人数 15名	・不発弾処理に関する予備知識(ビデオ視聴) ・不発弾処理対策本部図上訓練
2	H28. 10. 4	テロ対策訓練	市役所職員、警視庁職員 参加人数 28名	・テロ対策の基礎教養 警視庁公安部外事三課(テロ対策班) ・サイバーテロ対策教養 警視庁サイバーセキュリティ対策本部
3	H28. 11. 21	新型インフルエンザ等対策訓練	市役所職員、保健所職員 参加人数 16名	・模擬ニュースを視聴し、シナリオを題材にした図上訓練
4	H29. 2. 9	テロ対策実動訓練	武蔵野警察署、三鷹警察署、警視庁第九機動隊(爆発物処理班)、警視庁警備部警備第二課、武蔵野消防署、関東バス、学生ボランティア、防災安全部職員、警察犬ほか 参加人数 67名 犬 2頭	・武蔵野・三鷹パートナーシップ研修会 ・関係機関による実動訓練/本庁舎北玄関前ロータリー、 ・市職員による図上訓練/西棟5階防災情報室

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

4 全国瞬時警報システム(J-ALERT)

有事情報に関する情報や緊急地震速報といった時間的な余裕がない場合、人工衛星を用いて市区町村の防災行政無線等を自動起動させ、迅速に国からの情報を市民に伝達する装置が全国瞬時警報システム(Jアラート)である。本市では平成23年3月末に整備を完了し、平成23年4月1日から運用を開始した。平成28年11月29日にはJ-ALERT全国一斉自動放送試験を実施、防災行政無線屋外拡声器を使用し、午前11時に訓練放送を配信した。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

9-1-4 (決算書 234 ページ)

○災害対策費

○一般管理経費

1 災害対策職員住宅

休日・夜間等における災害発生時の緊急初動態勢を確保するため、災害対策職員住宅の運用管理を実施した。

住宅名	所在地	種別
北町災害対策職員住宅	吉祥寺北町1-11-7	世帯住宅 2DK (2戸)
東町災害対策職員住宅	吉祥寺東町4-9-4	世帯住宅 2LDK (2戸) 単身者住宅 1K (16戸)
中町災害対策職員住宅	中町3-5-12	単身・世帯住宅兼用 1DK (8戸)
境南町災害対策職員住宅	境南町3-16-7	単身・世帯住宅兼用 1DK (9戸)

－武蔵野市災害対策職員住宅管理規程－
－休日、夜間等における災害発生時の緊急初動態勢に関する規程－

防災課

防 災 課

9-1-1 (決算書 230 ページ)

○常備消防費

1 消防事務委託

常備消防を東京都に委託する。

(1) 消防事務委託経費の推移

(単位：千円)

年度	区分	委 託 費	前年度比較
24		1,614,314	9,533
25		1,531,549	△82,765
26		1,565,681	34,132
27		1,570,377	4,696
28		1,610,902	40,525

(2) 委託消防力の現況

① 消防職員数

(人)

区分 署所別	職 員 数							
	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 消 防 士 長	主 事	計
本 署	1	3	12	31	32	35	3	117
武蔵境	—	—	1	7	11	18	—	37
吉祥寺	—	—	1	9	6	20	—	36
計	1	3	14	47	49	73	3	190

② 消防自動車数

(台)

区分 署所別	種 別										
	ポ ン プ 車	梯 子 車	化 学 車	救 急 車	査 察 広 報 車	指 揮 隊 車	災 害 多 目 的 車	救 助 車	非 常 用 ポ ン プ 車	非 常 用 救 急 車	計
本 署	1	1	—	1	3	1	1	1	2	1	12
武蔵境	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3
吉祥寺	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	3
計	4	1	1	3	3	1	1	1	2	1	18

(3) 火災発生状況

① 火災発生及び損害件数

火災件数(件)	建 物				車 両	そ の 他
	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
44	—	2	4	27	3	8
焼失床面積 (㎡)	損害見積額(千円)		罹災世帯(世帯)	罹災人員(人)	死 者(人)	負傷者(人)
238	41,496		30	56	3	14

② 火災原因別件数

原因別	放 火 ・ 放火疑い	電 気 機 器 ・ 配 線	た ば こ	ガ ス 器 具	火 遊 び	た き 火	そ の 他	計
件 数 (件)	5	12	8	10	—	—	9	44

防災課

③月別火災発生状況

月 別	火災発生件数 (件)	焼失面積 (㎡)	主 な 火 災 現 場
4	2	—	
5	5	20	5/9 境
6	4	79	6/7 境南町
7	1	—	
8	3	—	
9	—	—	
10	2	—	
11	5	—	
12	9	42	12/13 吉祥寺北町
1	7	97	1/12 吉祥寺北町
2	4	—	
3	2	—	
計	44	238	

④町別火災発生件数

(件)

町 別	東 吉 祥 町 寺	南 吉 祥 町 寺	本 吉 祥 町 寺	北 吉 祥 町 寺	御 殿 山	中 町	西 久 保	緑 町	関 前	八 幡 町	境	境 南 町	桜 堤	計
件数	4	4	8	4	—	8	1	4	—	1	3	6	1	44

⑤武蔵野市内救急隊出場状況及び救護人員

種 別 月 別	事故 件数 (件)	収容 人員 (人)	事 故 等 の 内 訳									
			交通事故		急 病 人		火災負傷		一般怪我		その他	
			事故 件数 (件)	収容 人員 (人)								
4	619	572	32	32	380	346	1	—	119	109	87	85
5	642	581	50	41	388	347	3	3	107	102	94	88
6	565	523	28	27	355	327	1	2	94	84	87	83
7	729	672	43	43	463	415	—	—	120	113	103	101
8	634	570	39	34	410	365	2	1	100	91	83	79
9	634	574	41	39	393	350	—	—	106	97	94	88
10	645	598	50	47	376	342	—	—	117	110	102	99
11	694	636	44	39	404	370	4	2	134	123	108	102
12	901	836	57	53	537	496	2	2	161	149	144	136
1	730	671	43	41	443	394	2	4	115	110	127	122
2	646	596	31	30	401	363	1	1	108	101	105	101
3	637	584	48	43	362	331	—	—	138	125	89	85
計	8,076	7,413	506	469	4,912	4,446	16	15	1,419	1,314	1,223	1,169

— 消防法 —

防災課

9-1-2 (決算書 230 ページ)

○非常備消防費

1 消防団

消防団は、災害時には消防署と連携して延焼阻止や救助救出活動等に従事し、平常時は地域住民に対し初期消火や応急救護等について技術的な訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っている。

(1) 組織

① 本部

(人)

団 長	副団長	分団長	計
1	3	6	10

② 分団

(人)

分団数	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
10 個分団	10	10	19	40	165	244

(2) 消防団行事及び訓練演習

月 日	行事及び訓練演習	場 所
5/14	水防訓練 (本部・全分団)	市立むさしの市民公園
5/14	消防団員専科教育<警防科>	東京都消防訓練所
5/21	消防団員専科教育<機関科>	東京都消防訓練所
6/11	消防団員特別教育<救急科>	東京都消防訓練所
7/2	幹部教育研修<初級 幹部科>	東京都消防訓練所
7/31, 8/25	訓練所教官を迎えての訓練 (5 個分団)	武蔵野市役所
8/27	はらっぱ防災フェスタむさしの (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
9/24~25	幹部教育研修<指揮幹部科>	東京都消防訓練所
9/25	北多摩地区消防大会 (本部・全分団)	ひばりが丘総合運動場
10/8	東京都消防操法大会	東京都消防訓練所
10/30	総合防災訓練 (全分団)	団本部室及び市内全域
11/10	庁舎総合防災訓練 (2 個分団)	武蔵野市役所
11/9~15	秋の火災予防運動実施 (本部・全分団)	市内全域
	〃 市内巡回広報 (全分団)	〃
	〃 各家庭防火診断 (全分団)	〃
11/16~17	出初式に向けた操法訓練 (全分団)	市立第一中学校
11/19	武蔵野消防署震災訓練 (3, 6, 7, 8, 10 分団)	武蔵野消防署受持管内他
12/10	消防団員特別教育<救助科>	東京都消防訓練所
12/26~31	歳末消防特別警戒 (全分団巡回広報)	市内全域
12/27	〃 警戒本部巡視 (団本部)	各分団詰所
12/30	〃 〃 (市長他)	武蔵野消防署本署・出張所及び各分団詰所
1/6	出初式予行演習 (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
1/8	出初式 (本部・全分団)	都立武蔵野中央公園
1/27	文化財防火デーに伴う演習 (本部・1 個分団)	日本獣医生命科学大学
2/12	幹部教育研修<上級幹部>	東京都消防訓練所
3/1~7	春の火災予防運動実施 (本部・全分団)	市内全域
	〃 市内巡回広報 (全分団)	〃
	〃 各家庭防火診断 (全分団)	〃

防災課

(3) 消防員出動状況 (火災等)

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外											
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数											
本部	回数	-	-	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	6	-	2	-	1	-	1	-	18	
	延人数	-	-	8	3	4	-	-	-	6	-	-	-	-	6	-	25	-	10	-	4	-	2	-	68	
1分団	回数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	1	-	9	
	延人数	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	34	-	9	-	-	-	6	-	72	
2分団	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	1	-	8	
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	27	-	8	-	-	-	6	-	49	
3分団	回数	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	1	-	10	
	延人数	-	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	26	-	7	-	-	-	1	-	54	
4分団	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	7	
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	26	-	12	-	-	-	-	-	52	
5分団	回数	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	6	-	2	-	-	-	-	-	14	
	延人数	8	-	-	13	-	-	-	-	11	-	-	-	-	26	-	46	-	21	-	-	-	-	-	125	
6分団	回数	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	5	-	2	-	1	-	1	-	18	
	延人数	8	-	14	-	6	-	-	-	13	-	-	-	-	19	-	33	-	13	-	14	-	3	-	123	
7分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	1	-	-	-	8	
	延人数	-	-	5	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	5	-	7	-	8	-	9	-	-	-	42	
8分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
	延人数	-	-	12	-	12	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	47	
9分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	延人数	-	-	16	-	12	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	
10分団	回数	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	延人数	-	-	9	-	18	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	
合計	回数	2	-	9	4	6	-	-	-	9	-	-	-	-	14	-	37	-	12	-	4	-	5	-	102	
	延人数	16	-	68	32	53	-	-	-	75	-	-	-	-	101	-	224	-	88	-	39	-	18	-	714	

防災課

(4) 消防団員出動状況（誤報等）

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外		
本部	回数	2	1	2	1	1	1	3	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	4	-	-	1	8	-	32	
	延人数	7	4	9	2	3	2	12	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	11	-	-	1	29	-	109	
1分団	回数	3	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16
	延人数	16	-	10	-	15	-	15	-	-	-	7	-	6	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	112
2分団	回数	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	15
	延人数	18	-	10	-	7	-	4	-	-	-	4	-	7	-	30	-	-	-	4	-	-	-	-	10	-	94
3分団	回数	2	-	2	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16
	延人数	17	-	8	-	13	-	5	-	-	-	4	-	7	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	89
4分団	回数	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10
	延人数	13	-	-	-	14	-	5	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	59
5分団	回数	3	1	1	-	2	-	4	-	-	-	2	-	2	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	4	-	28
	延人数	29	5	9	-	8	-	30	-	-	-	8	-	8	-	41	-	-	-	18	-	-	-	-	17	-	173
6分団	回数	4	1	1	-	2	1	4	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	5	-	2	-	5	-	32	
	延人数	33	5	3	-	13	4	29	-	-	-	7	-	-	-	35	-	-	-	32	-	11	-	27	-	199	
7分団	回数	1	-	1	-	-	1	3	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	3	-	1	-	2	-	16	
	延人数	2	-	6	-	-	2	32	-	-	-	1	-	3	-	11	-	-	-	7	-	3	-	10	-	77	
8分団	回数	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	4	-	12
	延人数	15	-	-	11	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	29	-	-	-	-	53	-	146
9分団	回数	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	4	-	12	
	延人数	13	-	-	8	-	10	13	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	21	-	-	9	41	-	122	
10分団	回数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	7	
	延人数	13	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	34	-	69	
合計	回数	22	3	9	3	12	5	22	-	-	-	7	-	7	-	42	-	-	-	22	-	3	2	37	-	196	
	延人数	176	14	55	21	73	22	173	-	-	-	31	-	34	-	236	-	-	-	140	-	14	10	250	-	1,249	

防災課

(5) 消防団員出動状況 (訓練・警戒等)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	回数	12	19	15	12	8	11	18	10	6	4	3	6	124
	延人数	42	76	44	38	40	55	96	55	15	35	3	28	527
1分団	回数	4	6	1	4	5	6	5	4	6	3	1	2	47
	延人数	33	43	15	44	51	60	26	29	67	37	1	11	417
2分団	回数	4	6	3	3	3	5	5	4	9	3	1	3	49
	延人数	27	26	27	14	21	26	27	17	87	35	12	14	333
3分団	回数	11	9	9	10	7	11	10	4	7	3	—	3	84
	延人数	130	96	116	135	88	143	133	23	63	34	—	12	973
4分団	回数	3	3	2	2	3	3	4	4	6	3	—	2	35
	延人数	18	20	26	26	22	22	30	29	64	30	—	12	299
5分団	回数	4	9	4	3	2	6	4	4	6	3	—	4	49
	延人数	30	63	47	22	21	45	29	28	94	41	—	23	443
6分団	回数	4	6	5	7	2	11	4	9	7	3	3	3	64
	延人数	32	26	46	44	6	63	7	58	78	32	3	10	405
7分団	回数	6	6	—	5	4	6	4	5	7	6	—	2	51
	延人数	31	48	—	40	27	53	35	42	78	49	—	12	415
8分団	回数	3	9	2	7	4	4	10	5	8	3	—	2	57
	延人数	23	50	21	48	37	37	73	33	81	49	—	9	461
9分団	回数	4	6	5	3	5	5	5	5	7	3	1	4	53
	延人数	46	46	62	25	41	60	27	37	87	49	6	31	517
10分団	回数	6	8	2	4	4	5	7	6	7	4	—	3	56
	延人数	46	68	13	40	38	59	56	52	95	50	—	23	540
合計	回数	61	87	48	60	47	73	76	60	76	38	9	34	669
	延人数	458	562	417	476	392	623	539	403	809	441	25	185	5,330

(6) 都三多摩地区消防運営協議会

年月日	内 容	場 所
H28. 5. 26	東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会	東京自治会館
H29. 1. 19	” 第二部会	東京自治会館
H29. 1. 26	” 第一部会	東京自治会館

2 出初式

開催日 H. 29. 1. 8 (日)
 場 所 都立武蔵野中央公園
 主な内容 検閲、分列行進、消防演技、特別演技 (亜細亜大学吹奏楽団・武蔵野消防署はしご隊)
 表彰
 優良消防団表彰 (東京都消防協会長) 武蔵野市消防団
 優良分団表彰 (東京都三多摩消防団連絡協議会長) 第4分団
 優良分団表彰 (東京消防庁武蔵野消防署長) 第6、8分団
 優良分団表彰 (市長) 第2、7分団
 永年勤続団員表彰 (市長) 41名 他

— 消防法 —

— 武蔵野市消防団に関する条例 —

防災課

9-1-3 (決算書 232 ページ)

○消防施設費

1 消防水利

武蔵野消防署との消防水利の設置等に関する協定に基づき効果的な消防水利の確保に努めている。

(1) 消防水利現況

① 防火水槽

区分 町別	10～20m ³ 未満			20～40m ³ 未満			40～100m ³ 未満			100m ³ 以上			合計		
	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計
吉祥寺東町	—	—	—	—	—	—	12	—	12	10	1	11	22	1	23
吉祥寺南町	—	—	—	1	—	1	10	7	17	5	2	7	16	9	25
吉祥寺北町	—	—	—	1	1	2	27	16	43	6	—	6	34	17	51
吉祥寺本町	—	—	—	2	—	2	17	11	28	5	3	8	24	14	38
御殿山	—	—	—	—	—	—	4	2	6	—	1	1	4	3	7
中町	—	—	—	2	1	3	21	21	42	2	7	9	25	29	54
西久保	—	—	—	2	—	2	12	3	15	3	1	4	17	4	21
緑町	—	—	—	—	—	—	7	5	12	5	2	7	12	7	19
八幡町	—	—	—	—	—	—	13	2	15	6	—	6	19	2	21
関前	—	—	—	1	—	1	14	2	16	7	2	9	22	4	26
境	—	—	—	1	—	1	19	19	38	5	4	9	25	23	48
境南町	—	—	—	3	1	4	22	6	28	7	9	16	32	16	48
桜堤	—	—	—	2	—	2	7	10	17	5	4	9	14	14	28
総計	—	—	—	15	3	18	185	104	289	66	36	102	266	143	409

② 消火栓

町別	区分	公設	私設	計	町別	区分	公設	私設	計
吉祥寺東町		72	—	72	緑町		27	8	35
吉祥寺南町		108	—	108	関前		77	—	77
吉祥寺本町		115	—	115	八幡町		35	—	35
吉祥寺北町		100	4	104	境		104	1	105
御殿山		25	—	25	境南町		106	2	108
中町		82	—	82	桜堤		31	—	31
西久保		65	—	65	計		947	15	962

③ その他

種別	区分	公設	私設	計	種別	区分	公設	私設	計
貯水池	100m ³ 以上	1	—	1	プール		19	6	25
	40m ³ 以上	—	2	2	池		—	—	—
	40m ³ 未満	1	—	1	水路		3	—	3
雨水貯留槽		1	—	1	蓄熱槽		1	—	1
計		3	2	4	計		26	8	34

(2) 消防水利施設整備状況

① 新設 (消火栓)

種別	設置年月	設置場所	規模・種類
消火栓	H28.9	境南町1丁目29番先外1路線	75m/m 地下式単口
	H28.11	西久保3丁目23番先	
	H29.1	吉祥寺北町3丁目5番先外2路線	
	H29.2	境南町1丁目30番先	
	H29.3	境5丁目22番先	

② 修理等 (消火栓)

種別	内容	件数(件)
消火栓	移設、消火栓室取替	4

防災課

9-1-4 (決算書 234 ページ)

○一般管理経費

1 防災会議

(1) 防災会議開催状況
なし

(2) 委員の任命
28 年度中新規任命 10 名
28 年度中異動による補充 —
28 年度中任期満了による再任 4 名

— 武蔵野市防災会議条例 —

2 災害応急対策活動

- (1) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 7. 9 10:59~16:31
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (2) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 7. 14 15:13~20:33
(活動態勢) 第2 警戒態勢
(被害概要) なし
- (3) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 2 5:40~8:15
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (4) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 10 19:12~20:50
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (5) 台風 7 号に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 16~8. 17 17:15~翌 8:30
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (6) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 18 12:48~18:23
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (7) 大雨に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 20 11:36~13:00
(活動態勢) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし
- (8) 台風 9 号に伴う対応措置
(日 時) H28. 8. 22 4:59~18:20
(活動態勢) 第1 警戒態勢 4:59~8:30
第2 警戒態勢 8:30~18:20
(被害概要) 人的被害 1 件：
武蔵野タワーズスカイゲートタワー外壁タイル (縦 5 cm×横 20cm/枚、
範囲約縦 2 m×横 3 m) 落下により頭と手の甲に軽傷を負った。
倒木 1 件、道路冠水 4 件
- (9) 台風 16 号に伴う対応措置
(日 時) H28. 9. 20 17:10~21:00
(活動概要) 第1 警戒態勢
(被害概要) なし

3 災害援助

(1) 災害見舞金及び死亡弔慰金支給状況

全 焼 (壊)			半 焼 (壊)		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
5	5(3)	120,000	—	—	—
火災による水損			床上浸水		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
8	8(7)	45,000	—	—	—
死亡弔慰金					
件数(件)	人数	支給金額(円)			
—	—	—			

— 武蔵野市災害見舞金等支給条例 —

防災課

(2)被災者一時宿泊施設使用状況

宿泊人員	開設日数
9人(5世帯)	44日間

4 補助事業

災害に強いまちづくりを推進するため、市民が行う各種の安全対策に対し、補助金を交付している。

(1)ブロック塀等改善補助及び改善資金融資あっ旋(利子補給)制度

対象：市が行った調査(平成14年度)により危険と判断されたブロック塀等の所有者

区分	内 容	1m基準額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
改修	既存のブロック塀を取り壊し、新たにパイプフェンス、ネットフェンス、ブロック塀等に改修する。	6,000	2	96,000

－武蔵野市ブロック塀等改善補助金交付要綱－

(2)災害対策用民間井戸維持管理補助 対象：市内の指定井戸所有(管理)者

一人当たり補助額(円)	補助対象者数(人)	補助金額(円)
9,000	90	810,000

－武蔵野市災害対策用井戸の所有者に対する維持管理補助金交付要綱－

(3)家庭用消火器等購入補助 対象：市内在住世帯

一世帯当り補助金額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
500	4	2,000
1,500	17	25,500
2,500	493	1,232,500
計	514	1,260,000

－武蔵野市家庭用消火器など購入補助金交付要綱－

○防災訓練事業

1 総合防災訓練

震度6弱以上の大地震の発生及び東海地震の警戒宣言を想定し、市、防災関係機関及び地域住民が一体となって実効性のある総合的、有機的な訓練を実施している。

(1)予知対応型訓練(東海地震の警戒宣言を想定)

(日 時) H28.10.30 9:00～12:00
(場 所) 市内全域

(2)発災対応型訓練(首都直下型地震想定)

(日 時) H28.10.30 9:00～12:00
(場 所) 武蔵野市役所、市立小中学校18校、都立武蔵高校・武蔵野北高校及び武蔵野赤十字病院
境南コミュニティーセンター、ケアコート武蔵野
(参加者数) 訓練総参加者数1,682名

(内訳：参加職員233名、参加機関765名、市民521名、自主防災組織124名、来賓5名、その他34名)

(3)訓練の体系

【予知対応型訓練】

情報伝達訓練	消防団による広報訓練
警戒宣言対応訓練	防災行政無線による一斉放送

【発災対応型訓練】

災害対策本部運営訓練等	参集者による初動本部及び災害対策本部の運営訓練等
避難所開設訓練	初動要員、避難所運営組織、防災推進委員及び一般参加者による避難所開設訓練
災害時地域支え合いステーション開設訓練	境南コミュニティーセンターにおける「おもいやりルーム」開設訓練
消防団による図上訓練等	消防団による災害想定での付与に基づく部隊運用を行う図上訓練及び消防署と連携した演習(一斉放水)
武蔵野警察署による訓練	災害対策本部との連携訓練及び演習(道路啓開訓練)
武蔵野消防署による訓練	災害対策本部との連携訓練及び演習(救助活動及び一斉放水)
物資配送訓練	災害対策本部からの要請による物資の積み込み、配送及び引き渡し訓練
聴覚障害者対応訓練	聴覚障害者受付訓練及び聴覚障害者に対する情報提供訓練
避難行動要支援者対策訓練	災害時要援護者安否確認訓練、災害時要援護者避難支援訓練及び避難行動要支援者安否確認訓練
福祉避難所開設訓練	福祉避難所の開設訓練及び介護トリアージ(仮称)訓練
ペット対策訓練	ペット同行避難訓練及びペット管理訓練等
医療連携訓練	医療救護本部設置訓練及び緊急医療救護所設置訓練(トリアージ訓練)

防災課

(4)実施機関

市、警察署、消防署、消防団、その他関係機関及び市民

2 水防訓練・地震対策ひろば

本市では、地下駐車場や地階を伴った商業ビルやマンション等が多く建設されており、集中豪雨等による浸水被害を受けることが予想される。このような都市型の水災害に対応するため各種の水防活動訓練を実施している。

(日 時) H28.5.14 9:00～11:30

(場 所) 市立むさしの市民公園

(参加者数) 463名

(実施機関) 市、消防署、消防団、警察署、その他関係機関、ボランティア団体及び市民

機関連携訓練	監視警戒、パトロール訓練
	マンホール噴出防止工法
	積み土のう工法、連結水のう工法訓練
	資材搬送訓練
	救助救出訓練
	土のう作製・情報伝達訓練
市民参加訓練	家庭でできる水防技術講習会（生活用品を使った工法）
地震対策ひろば	煙体験
	ガス復旧方法の確認
	家具転倒防止器具等の展示
	地震対策、浸水対策、雨水対策等の啓発
	住宅耐震化促進に関する案内
	被災地支援パネルの提示
	消防車両・警察車両の展示
	子ども用防火衣装着体験
	スタンプラリー
救命ボート展示	

3 初動地域防災訓練

災害時の一時集合場所・避難所における市初動要員と学校側との密接な連携をはかり、迅速かつ適切な避難所運営を目指すことを目的として実施している。

(1)実施状況

28年度は総合防災訓練と合わせて、市内全避難所で一斉に訓練を実施した。

日時 H28.10.30(日) 9:00～12:00

(2)実施内容

各支部の初動要員が学校の担当者・地域住民等と顔合わせ。避難所開設までの動きの確認及び備蓄資機材・設備の動作確認を行った。

(3)参加者数 1,449名

4 はらっぱ防災フェスタむさしの

平成26年度から実施している展示・啓発ブース、市民の体験型訓練及び防災機関の活動周知などの普及啓発の部分に特化したイベントを、本年度も都立中央公園との共催で実施した。

日ごろ防災訓練等に参加が少ない方に参加してもらうため、楽しめるイベントを企画し、参加への垣根を低くすることで、平時、防災に触れ合う機会の少ない世代への啓発を促進し、地域防災力の向上を目指すことを目的としている。

(日 時) H28.8.27 10:00～12:15

雨天のため予定終了時間の午後1時より早く終了

(場 所) 都立武蔵野中央公園 原っぱ広場

(参加者数) 1,500名

(参加機関) 市、消防署、消防団、警察署、その他関係機関、ボランティア団体及び市民

啓発ブース	関係機関による防災対策や防災知識などのパネル展示・PR
体験ブース	初期消火、応急救護など
子ども向けイベント	スタンプラリー・消防服の試着など
車両展示	消防・警察・自衛隊・建築業協会の車両を展示
炊出し訓練	自衛隊と日赤奉仕団による炊出しを行い、成果物のカレーを参加者で試食
短時間イベント	警備犬による服従訓練

水不足による節水を推進していたことから、管工事業協同組合の水道管復旧、消防団の放水など水を使用したプログラムは中止した。

防災課

5 防災ボランティア訓練

災害ボランティア活動の拠点である市民文化会館を使用し、災害ボランティアセンター開設・運営訓練をおこなうことで、各機関の役割の再認識と体制の連携を図ることを目的として実施している。

平成 28 年度については、武蔵野市民文化会館が改修工事で使用できなかったため、過去の訓練の総括及び問題解決の機会として講演会及びワークショップを実施した。

(日 時) H29. 1. 12 10:00～13:00

(場 所) 武蔵野市役所 811 会議室

(参加者数) 162 名 (講演会: 110 人、ワークショップ: 52 人)

(実施機関) (社福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野市国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団、ボランティアセンター武蔵野、武蔵野まごころ連、遠野まごころネット、亜細亜大学学生ボランティアセンター、亜細亜大学一般奉仕会『細流』、成蹊大学学生ボランティア本部、学生ネットワーク STOCK、防災推進員、自主防災組織、地域福祉活動推進協議会等

(実施内容) ①講演会

「被災地支援の現場における災害ボランティアセンターの役割」

講師：東京ボランティア・市民活動センター 加納 佑一氏

②ワークショップ

前年度までの実施訓練において出された課題である、ボランティアセンター運営の土台となるニーズの把握方法等の手法をワークショップ形式で検討した。

ワークショップについては5グループに分けて行い、ファシリテーターは学生が務めた。ファシリテーターサブ及び書記として武蔵野市民社会福祉協議会職員がグループに入った。

6 帰宅困難者対策訓練

東京湾北部を震源とした首都直下地震が発生、市内において最大震度 6 弱を観測し、鉄道等の公共交通機関が運行を停止し、吉祥寺駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したことを想定し、訓練を実施した。

(日 時) H29. 3. 11 14:00～16:00

(場 所) 吉祥寺駅周辺及び一時滞在施設等

(内 容) (1)関係機関等における情報収集・伝達訓練 (MCA 無線等の活用)

(2)防災安全センターでの防災カメラ等を活用した状況確認及び指揮命令伝達訓練

(3)吉祥寺駅及び周辺での帰宅困難者の保護・一時待機訓練

(4)帰宅困難者への情報伝達訓練

(5)一時滞在施設への誘導訓練

(6)支援物資搬送訓練

(7)一時滞在施設における帰宅困難者受入れ及び支援物資提供訓練

(8)帰宅困難者役参加者への啓発活動

(9)職員参集メールの配信 (午前 9 時配信)

(参加者数) 228 名

(実施機関) 吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会 (吉祥寺活性化協議会、J R 吉祥寺駅、京王電鉄吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、エフエムむさしの、J:COM 武蔵野・三鷹、武蔵野警察署、武蔵野消防署、東京都西部公園緑地事務所、武蔵野商工会議所、武蔵野市開発公社、武蔵野公会堂、ブルーキャップ、吉祥寺まちづくり事務所、武蔵野市)、一時滞在施設協定締結事業所、コラボデリバリー(株)、自主防災組織、防災推進員、赤十字奉仕団、コラボデリバリー(株)、一般公募帰宅困難者役、地域の方々等

○災害対策用器具機材備蓄品整備

1 地域設置消火器

平成 9 年度から設置基準を見直し、設置間隔を 60m に縮め、空白区域を補強・増設するとともに、保守・管理にあたっている。

(1)設置状況

種 別	設置場所	本数(本)	放射距離	放射時間
粉 末	市内各所	1,321	約 5 メートル	約 15 秒
強 化 液	市内各所	40	約 7 メートル	約 35 秒

(2)維持修理状況

処理事項	本数(本)
盗難、いたずらによる補充	20
減圧による交換	2
火災使用による詰め替え	18
格納箱の修理・交換	42
一時撤去 (移設含)	19
10 年経過による交換	98
合計	199

防災課

2 食糧備蓄状況

震災時の避難人口を 32,000 人と想定し、クラッカーやアルファ米などを備蓄している。賞味期限到来まで 1 年を切った食糧については入れ替えを行い、防災訓練等が行われる際に供出している。

(1)クラッカー		
入替数量	24,150 食	
H29.3.31 現在	96,600 食	
(2)アルファ米		
入替数量	24,000 食	
H29.3.31 現在	96,000 食	
(3)副食（缶詰）		
入替数量	32,400 食	
H29.3.31 現在	64,800 食	
(4)災害時要援護者用食糧（おかゆ缶）		
入替数量	6,000 食	
H29.3.31 現在	12,000 食	
(5)災害時要援護者用食糧（パン缶）		
入替数量	5,040 食	
H29.3.31 現在	20,160 食	
(6)災害時要援護者用食糧（粉ミルク 350g 缶）		
入替数量	1,077 缶（うちアレルギー疾患用 105 缶）	
H29.3.31 現在	1,077 缶（うちアレルギー疾患用 105 缶）	

○防災施設整備事業

1 防災行政無線設備

防災行政無線システムは、市から市民に直接情報を伝達する固定（同報）系無線と、市と市の施設及び防災関係機関相互の情報連絡を確保するための無線の 2 系統で構成している。H22 年度に地域防災無線（アナログ 800MHz 帯）から防災用 MCA 無線へ設備更新し、デジタル化を図った。

H25 年度にハウスグリーンパーク、J:COM 武蔵野・三鷹、桜堤児童館、吉祥寺本町在宅介護支援センターに MCA 無線増設を行った。

H27 年度は安全対策課、安全対策課車両、ホワイトイーグル 1～3 号車、ブルーキャップ詰所、あんず苑、あんず苑アネックスに MCA 無線増設を行った。

(1) 固定系設備設置状況

構成	局数(局)	出力
親局	1	0.5 W
屋外拡声子局	47	
屋内戸別受信機	82	

(2) 防災用 MCA 無線設備設置状況

構成	局数(局)	出力
陸上移動局		2 W
統制型無線機	5	
半固定型無線機	129	
携帯型無線機	55	
車載型無線機	1	

2 災害対策用井戸整備

平成 9 年度から、災害時の水源確保のため、避難所となる市立小・中学校に井戸の設置を進めてきた。

<設置状況>

H29.3.31 現在 18 ヲ所に設置済

3 下水道直結型トイレ整備

平成 20 年度から、災害時のトイレ確保のため、避難所となる市立小・中学校に設置を進めてきた。

<設置状況>

- (H24 年度改修箇所 第二小学校)
- (H25 年度改修箇所 第三小学校、第四小学校、千川小学校、第二中学校)
- (H26 年度改修箇所 本宿小学校、関前南小学校、第一中学校、第四中学校)
- (H27 年度改修箇所 第五小学校、井之頭小学校)
- (H28 年度改修箇所 桜野小学校、第六中学校)
- H29.3.31 現在 18 ヲ所に設置済

防災課

○防災啓発事業

1 地域防災訓練（共催・後援）

地域住民等による自主的な防災訓練や防災課職員による講話・講演、防災PR用品の配布、炊き出し用器材の貸し出し等、コミュニティセンター、学校、公園などを拠点に計289回行われた。(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出	4	6	8	14	11	13	15	18	12	17	6	7	131
訓練	6	5	7	3	2	9	16	17	3	2	5	3	78
講話・講演	1	—	8	2	—	5	—	4	2	4	5	6	37
打合せ・会議	5	8	9	2	1	5	1	2	3	2	2	3	43
計	16	19	32	21	14	32	32	41	20	25	18	19	289

2 武蔵野市防災情報マップ、防災ハンドブックの作成・配布

防災情報マップ：14,000部増刷した。

防災ハンドブック：平成25年に作成した防災ハンドブックに、市の避難行動支援体制や災害時医療救護体制などを新たに記載し、80,000部作成した。(翌年度5月～6月に全戸配布)